

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市規格葬儀事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008 (H20) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市規格葬儀に関する要綱				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	低廉で厳粛な葬儀を執り行いたい市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	一般的で低廉で厳粛な葬儀を希望しているが、葬祭業者には画一的なその様なメニューがない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	簡素・低廉かつ厳粛な葬儀が葬儀業者間で統一して提供できていて、市民がそれを利用できている。				
事業概要	枚方市が葬儀の仕様や金額を定め、市の規格に沿って葬儀を行う葬儀業者を「枚方市規格葬儀取扱店」として承認し、市の規格どおりの葬儀を行っていることを確認する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		簡素・低廉かつ厳粛な葬儀メニューが葬儀業者間で統一して提供できている。				取扱店において、市の規格通りの葬儀を行っていることを確認する。				市の規格に沿って葬儀を行う葬儀業者を「枚方市規格葬儀取扱店」として承認する。			
指標設定	指標説明	規格葬儀利用者満足度 【算出式: アンケートにより満足またはどちらかといえば満足と回答した人 / アンケート回答数 × 100】				規格葬儀実施件数 (標準葬 + 略式葬)				規格葬儀取扱店数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	単位	%		件		単位	件		単位	件		
		件											
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	85	85	88	90	175	180	185	190	12	13	14	15
	達成度	118%				99%				100%			
分析	利用した各規格葬儀取扱店で満足度が高く、統一的な対応ができています。				規格葬儀実施件数は過年度から横ばいとなっており、今後も一定の利用者があると見込まれる。				葬儀に関する若年層の意識の変化等などから、より簡素な葬儀の需要が見込まれ、取扱店の増加が見込まれる。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.44
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,180	4,089	3,509		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,180	4,089	3,509		
	物件費計	1	42	1	79	1%	
	歳出計	3,181	4,131	3,510			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		3,181	4,131	1	79		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定通りであった。
-------	------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市営葬儀に代わる簡素、低廉かつ厳粛な葬儀メニューが求められていることから、今後も取り組みを継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市立やすらぎの杜施設維持管理事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	2008 (H20)		年度	~	年度まで		
根拠法令等	枚方市立火葬場条例施行規則						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	枚方市営の火葬場で火葬を希望する人					
	サブターゲット	火葬場の近隣住民					
	ターゲットが抱える課題	できるだけ安価で利用できる衛生的かつ厳粛、心が安らぐ火葬を希望している。					
	ターゲットが抱える課題	近隣の環境へ悪影響を及ぼす可能性がある。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	火葬場を適正に運営し、全ての利用者が常時、快適に利用できている。また、近隣の環境に配慮ができています。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携し、適切に火葬場の運営を行う。 死亡された市民等を火葬する施設として、火葬中の設備機器トラブルの発生や地域環境を害する運転等を起こさないために、定期補修工事等を実施し、適切な施設の維持・管理を行う。 毎年度、排ガス測定を実施し、排出に関する目標値を達成しているか確認を行う。 						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
					枚方市立やすらぎの杜を予定通り稼働する。				枚方市立やすらぎの杜が適正に維持管理されている。							
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	指標説明				やすらぎの杜稼働率 【年間稼働日数/年間稼働予定日×100】				修繕料、維持補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】							
	指標種類				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)								100	100	100	100	100以内	100以内	100以内	100以内
	実績								100				87.37			
達成度								100%								
分析				予定通り稼働できた。				修繕工事が少なく、適正に維持管理することができた。								

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.92
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,633	6,333	7,337		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,633	6,530	7,337		
	物件費計	177,674	189,160	194,078	206,019	94%	
	歳出計	185,307	195,690	201,415			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	201,114	206,861		
	市債	0	0	0	0		
	その他	162,421	171,119	12	13		
	歳入計	162,421	171,119	201,126	206,874		
	一般財源	22,886	24,571	▲ 7,048	▲ 855		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、概ね想定通りであった。また、人員については、新型コロナウイルス感染症による死亡者の火葬に係る対応や感染拡大防止対応等のため、例年より多くの人員を配置することとなった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	火葬場を適正に運営できるよう、計画的な設備等の更新を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	鳥獣捕獲許可関連事務													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	環境部				課	環境政策室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		23.豊かな自然環境を大切にすまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業	
事業期間	1998 (H10) 年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律					
関係補助金名称					サンセット	～
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	野生鳥獣(有害鳥獣や特定外来生物など)により住居侵入や農作物食害・糞害などの被害を受けている市民及び事業者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	野生鳥獣の住居侵入や農作物食害、糞害などを被っているが、野生鳥獣保護の観点から自由に捕獲等ができない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	野生鳥獣の捕獲等により、野生鳥獣(特定外来生物や有害鳥獣など)による被害がなくなる。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣等の相談に関する事務 有害鳥獣捕獲等の許可及び捕獲器の貸出業務 特定外来生物であるアライグマについて、捕獲器の貸出及び捕獲個体の運搬について、業者に委託して実施。 鳥獣飼養登録等事務 					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						各種相談等に応じ、鳥獣捕獲許可や捕獲器の設置をすることにより、被害が減少する。				野生鳥獣等の被害を受けている市民及び事業者から捕獲許可申請等を受け付ける。			
指標設定	指標説明					捕獲頭数(アライグマ・イタチ・ハト・カラス等)				鳥獣捕獲許可申請件数+アライグマ捕獲器設置依頼件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					650	630	615	600	250	230	215	200
	達成度					87%				107%			
分析					本年度はカラスをはじめとする鳥類の捕獲が非常に多く、全体としても多くなっている。				新型コロナウイルスの影響等で、市民が外出を控えたこともあり、動物の目撃や被害の現認自体が減少したため、申請が減少したと考えられる。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.73
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,373	5,393	5,760		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,373	5,393	5,760		
	物件費計	3,965	2,683	2,732	3,675	74%	
	歳出計	8,338	8,076	8,492			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	429	407	377	341		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	3		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	429	407	377	344		
一般財源		7,909	7,669	2,355	3,331		

5. 総括的分析

総括的分析 指標の達成度については、新型コロナウイルス感染症の影響等で市民が外出を控えたこともあり、動物の目撃や被害の現認自体が減少したため、申請件数は減少したと考えられるものの、カラスなど鳥類の捕獲頭数が増加したことから、達成には至らなかった。なお、被害報告は年々増加傾向にあり、捕獲頭数、申請件数共に今後も減少は考えにくいと考えられることから、継続した対策が求められる。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も同等程度の規模を維持することが望ましい。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	自然保護啓発事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	環境部				課	環境政策室			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標		5. 自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		23. 豊かな自然環境を大切にするまち											
	実行計画名		23-1. 里山の保全											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1998 (H10) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	自然環境保全法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	普段自然とふれあう機会があまりない市民				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	自然とふれあう機会が少ない				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自然とふれあう、また、自然環境について考える機会を通して、自然環境保全の意識が醸成されている状態。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市の自然環境を身近に感じてもらうため、天野川や山田池公園などで、魚や昆虫、植物などの自然観察会等を開催。 自然環境を考える講演会を開催。 H29年度からH30年度にかけて、第6回自然環境調査(補完調査)を実施。(主な調査地域は、山田池公園、船橋川、穂谷川、天野川) 					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	自然とふれあう、また、自然環境について考える機会を通して、自然環境保全の意識が醸成されている。	市民が、自然保護に触れる機会が増える。				自然保護に関する各種啓発イベント等を開催。						
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	観察会参加者のうち、自然を大切にしようと思った人の割合 【算出式: アンケートにより「自然を大切にしようと思う」と回答した人 / アンケート回答数 × 100】	自然観察会等参加者数				自然観察会等開催回数						
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	85	88	90	91	265	275	285	295	6	6	6	6
達成度	109%				34%				50%			
分析	自然観察会に参加しようとする人は、元々自然環境保全意識が高く、実際に観察会で自然に触れ合うことにより高い達成度となった。				令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自然観察会「水辺の楽校」と「自然環境を考える講演会」が開催できなかった。さらに自然観察会「山田池公園昆虫教室」が雨天のため開催できなかったため、参加人数が例年より減少した。				令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自然観察会「水辺の楽校」と「自然環境を考える講演会」が開催できなかった。さらに自然観察会「山田池公園昆虫教室」が雨天のため開催できなかったため、開催回数が例年より減少した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.21
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,498	1,990	1,396		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	26	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,498	2,016	1,396		
	物件費計	4,023	133	75	248	30%	
	歳出計	7,521	2,149	1,471			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		7,521	2,149	75	248		

5. 総括的分析

総括的分析 指標の達成度については、新型コロナウイルス感染症例年通りの実施はできず、低い達成度となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、自然観察会「水辺の楽校」と「自然環境を考える講演会」が実施できなかったこと、実施した自然観察会においても会場での密を防ぐために参加人数を制限したことが要因と考える。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も、市民が身近な自然と触れ合い自然環境について考える機会を通して、環境保全意識を高めるために取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ごみ処理手数料(証紙)徴収事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	環境政策室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業		区分	非選択的事務事業							
事業期間	2002(H14)年度		年度	~	年度まで								
根拠法令等	枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例、枚方市証紙条例												
関係補助金名称							サンセット	~					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	粗大ごみ等を排出する市民											
	サブターゲット	家庭系のごみ処理手数料の証紙販売等を行う事業者(売りさばき人)											
	ターゲットが抱える課題	市民は証紙を購入し、粗大ごみ等を適正に排出する必要がある。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民が粗大ごみ等を適正かつ円滑に排出している。												
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 粗大ごみ等の処理に係る手数料を徴収する証紙の販売・管理を行う。 証紙を販売する売りさばき人の指定等を行う。 												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						粗大ごみ等の処理に係る証紙を過不足なく徴収することにより、市民が粗大ごみ等を適正かつ円滑に排出できている。				売りさばき人の指定等を行い、粗大ごみ等の処理に係る手数料(証紙)の徴収を行う。			
指標説明						証紙販売数				販売箇所			
		単位				単位				箇所			
指標種類						減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					80,000	80,000	80,000	80,000	153	153	153	153
	実績					99,806				149			
達成度						75%				97%			
分析						指標の未達成は、新型コロナウイルスの蔓延による自宅待機に伴うごみ排出需要の増加が推察される。				市民が過度な負担(販売店までの距離など)無く、証紙が買える環境を整えていく必要がある。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	9,451	8,017	2,881		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人員費計	9,451	8,017	2,881		
	物件費計	4,854	5,799	4,968	4,825	103%	
	歳出計	14,305	13,816	7,849			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	298,310	295,648		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	298,310	295,648		
	一般財源	14,305	13,816	▲ 293,342	▲ 290,823		

5. 総括的分析

総括的分析	・売りさばき人を指定し、証紙を販売することにより、粗大ごみ等の処理に係る手数料を徴収した。 300円券:62,559枚、600円券:37,247枚
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	塵芥処理手数料を枚方市証紙で徴収することにより、ごみの排出者責任と応益負担の考え方を担保する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	事業系ごみ減量及び適正処理推進事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名	25-1.ごみ総量の削減と資源化の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	月平均2.5トン以上の一般廃棄物を排出する事業者(行政を含む)			
	サブターゲット	一般廃棄物を排出する事業者(行政を含む)			
	ターゲットが抱える課題	一般廃棄物を排出する事業者は、減量及び適正処理を実施する必要がある。 一般廃棄物を排出する事業者は、ごみ処理手数料を適切に負担する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	一般廃棄物を排出する事業者が、減量及び適正処理を実施している。 一般廃棄物を排出する事業者が、ごみ処理手数料を適切に負担している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物を排出する事業者に減量及び適正処理の指導を行う。 事業系ごみ処理手数料の見直しを行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		一般廃棄物を排出する事業者が、減量及び適正処理を実施している。				事業系一般廃棄物減量等計画書等の結果により、必要に応じて、事業所に対し立入調査等を実施する。				事業系一般廃棄物を排出する対象の事業所に対し、事業系一般廃棄物減量等計画書の提出及び一般廃棄物管理責任者の選任を求める。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明	事業系一般廃棄物搬入量				事業所への立入調査件数				事業系一般廃棄物減量等計画書提出数			
		単位		トン		単位		件		単位		件	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	32,336	32,148	31,960	31,771	25	25	25	25	76	76	76	76
	実績	28,623				21				62			
達成度	111%				116%				118%				
分析	想定よりも事業系一般廃棄物搬入量は減少した。				事業所への立入調査は、毎年多量排出事業者の1/3程度を目安に行っているため、件数が少なくなった。				想定よりも月2.5トン以上の一般廃棄物を排出する事業所が減少したため、計画書の提出数が少なくなった。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,939	8,017	6,380		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	9,939	8,017	6,380		
	物件費計	5,738	3,014	4,131	4,682	88%	
	歳出計	15,677	11,031	10,511			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		15,677	11,031	4,131	4,682		

5. 総括的分析

総括的分析	月平均2.5トン以上の一般廃棄物を排出する多量排出事業者に対して一般廃棄物管理責任者の選任及び事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を求め、当該事業所への立入指導を実施するとともに、分別排出のチラシを作成・配布するなど、事業者にごみの減量・リサイクルの促進する取り組みを行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、一般廃棄物の排出事業者へ減量及び適正処理の指導を行うとともに、事業系ごみ処理手数料の改定に向けた検討を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	北河内4市リサイクル施設組合負担金交付事業											
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部			課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2001(H13)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、北河内4市リサイクル施設組合格約				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市・寝屋川市・四條畷市・交野市で設立した北河内4市リサイクル施設組合			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、北河内4市(枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市)で設立した北河内4市リサイクル施設組合で、ペットボトル・プラスチック製容器包装の中間処理を行っている。 北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、北河内4市リサイクル施設組合格約に基づく応分の負担金を交付している。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						適正な運営により、北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理している。				北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、応分の負担金を交付する。			
指標説明						ペットボトル・プラスチック製容器包装のリサイクル率 【算出式:リサイクルした量/中間処理量×100】				負担金の交付回数			
		単位				単位				単位			
指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	4	4	4	4
	実績					100				4			
達成度						100%				100%			
分析						リサイクルを適正に行うことができた。				第1期から第3期までは負担金を交付したが、第4期は還付が行われた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	401	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	398	401	0	
	物件費計	174,320	165,756	167,773	182,937	92%
	歳出計	174,718	166,157	167,773		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		174,718	166,157	167,773	182,937	

5. 総括的分析

総括的分析	北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、北河内4市リサイクル施設組合規約に基づく応分の負担金を交付するとともに、職員1名を派遣し、北河内4市リサイクルプラザ(かざぐるま)でペットボトル・プラスチック製容器包装の中間処理が適正に行われ、リサイクルを推進することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	北河内4市リサイクルプラザ(かざぐるま)の適正かつ効率的な運営のために、引き続き北河内4市リサイクル施設組合に職員1名を派遣し、北河内4市リサイクル施設組合規約に基づく負担金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	一般廃棄物処理計画推進事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務			
事業期間	不明		年度	~	年度まで			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
関係補助金名称					サンセット	~		
関係附属機関名称	枚方市廃棄物減量等推進審議会							
事業対象	メインターゲット	廃棄物行政を担う職員						
	サブターゲット							
	ターゲットが抱える課題	一般廃棄物の減量及び適正処理を推進する必要がある。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般廃棄物の減量及び適正処理が行われている。							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理基本計画や災害廃棄物処理計画などの策定・見直しを行うとともに、各種計画に基づく取り組みの進捗管理を行う。 枚方市廃棄物減量等推進審議会の運営を行う。 							

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						「一般廃棄物処理計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「一般廃棄物処理計画」に係る各種事務が推進される。			
指標設定	指標説明					一般廃棄物処理実施計画に記載している主な取り組みの実施率				一般廃棄物処理実施計画掲載の主な取り組み件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	32	32	32	32
	実績					100				34			
	達成度					100%				106%			
	分析					一般廃棄物処理実施計画に記載している主な取り組みに基づき実施した。				想定よりも主な取り組み件数が多くなった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	17.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,291	17,777	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	247	380	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,538	18,157	0	
	物件費計	49	7,904	0	0	—
	歳出計	1,587	26,061	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	2,280	0	0	
	歳入計	0	2,280	0	0	
	一般財源	1,587	23,781	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	廃棄物減量等推進審議会において、一般廃棄物処理実施計画に基づく主な取り組みを適宜報告し、委員からの意見等を踏まえ、今後の取り組みを進めるなど、ごみの減量・リサイクル及び適正処理に関する取り組みを推進した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、一般廃棄物の減量及び適正な処理を推進するために一般廃棄物処理計画に基づく取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	水道事業会計補助事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	環境政策室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで							
根拠法令等	地方公営企業法、枚方市補助金等交付規則											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		枚方市上下水道局上下水道経営部									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		市民の生活に必要な不可欠な水道水を供給する水道事業の経営の健全化及び水道料金の抑制を図る必要がある。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市水道事業の健全化と水道料金の抑制が図られている状態。											
事業概要	一般会計から水道事業会計へ補助金・負担金を繰り出しすることで、市民の生活に必要な不可欠な水道水を供給する水道事業の経営の健全化と水道料金の抑制につなげる。 1. 水道事業会計への補助金(福祉減免分) 2. 水道事業会計への負担金(上水道の水源開発に要する経費(1/3相当額)・児童手当分)											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	401	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	795	401	0	
	物件費計	115,971	116,714	327,787	327,788	100%
	歳出計	116,766	117,115	327,787		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		116,766	117,115	327,787	327,788	

5. 総括的分析

総括的分析	一般会計から水道事業会計への補助金・負担金の繰り出し事務を行った。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響を踏まえ、市民に「新しい生活様式」の定着と、その一環である「手洗い」の励行を推進するため、水道料金の基本料金を2か月間減免した分も補助金として拠出した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	基準に従い、今後も適正に繰り出し事務を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	エコオフィス推進事務												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	2000 (H12) 年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律、大阪府温暖化の防止等に関する条例、枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～						
関係補助金名称				サンセット	～		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	市役所を含む市内事業者(その効果は全市民に及ぶ)					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	施策に環境配慮の視点が盛り込めていないものがある。(市民全体にとっては、異常気象など、地球温暖化の進行が課題)					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市役所が率先して、環境保全活動を実施し、市役所の事務事業から排出される温室効果ガスの削減を図るとともに、市内の事業者が、環境保全活動を推進し、市域の温室効果ガス排出量の削減が図られている。						
事業概要	・「枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～」や「枚方市エコオフィスに関する取り組み指針」などに基づき、省エネ・省CO2対策を実施。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						適切な環境保全活動の結果、排出される温室効果ガスの削減を図ることが出来ている。				市役所が環境保全活動を実施する。			
指標設定	指標説明					市役所の事務事業に伴い排出された温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)				環境保全活動実施件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					72,116	70,857	69,598	68,283	135	135	135	135
	達成度					113%				103%			
分析					エコオフィス活動を実施することで、温室効果ガスの削減について目標を達成することができた。				新型コロナウイルスの影響により、6施策が実施できなかったものの、目標を達成することができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.09
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	636	722	718	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	25	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	661	722	718	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	661	722	718		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	661	722	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、「枚方市役所CO2削減プラン～枚方市地球温暖化対策実行計画～」や「エコオフィスに関する取り組み指針」に基づくエコオフィス活動を実施するとともに、環境保全活動を実施することで地球温暖化対策を推進した結果、温室効果ガスの削減につながった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	平成30年4月に策定した「枚方市役所CO2削減プラン～枚方市地球温暖化対策実行計画～」や「エコオフィスに関する取り組み指針」の運用により環境保全の一層の推進と効率化を図る。また、「枚方市役所CO2削減プラン(2018-2022年度)」の次期計画策定に向けた、市民・事業者アンケートを実施するとともに審議を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	環境教育推進事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち										
	実行計画名		27-1.地球温暖化対策の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1995 (H7) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律、枚方市環境教育・環境学習推進指針				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	主に市内の保育所・園、幼稚園、小学校に在籍する園児・児童(対象は全市民)				
	サブターゲット	環境教育を受けた園児・児童の家族や関係者				
	ターゲットが抱える課題	環境問題について学ぶ機会が少ない。また、環境について学ぶきっかけがない。				
	ターゲットが抱える課題					

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	環境について学ぶ機会が常時、確保され、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへの転換が図られている。				
-----------------------	--	--	--	--	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「幼児のための体験型環境学習プログラム」として、市民や市職員が講師となり、市内の保育所・園、幼稚園で環境出前学習を実施。 小学校高学年を対象とした環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の発行。 子どもたちが夏休みに家庭で排出されるCO2排出量を体感し、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心を持ってもらうきっかけとして「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校に配布。 各学校園において、教職員や幼児、児童、生徒などを対象とした市独自の学校版EMSプログラム「S-EMS」を導入し、エコオフィス活動をはじめ環境保全活動を推進。 				
------	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	環境について学ぶ機会が常時、確保され、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへの転換が図られている。	保育園児やその保護者の方の環境について触れる機会が増える。	市内の保育所・園、幼稚園で環境出前学習を実施。

指標設定	指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	環境保全に関心を持つきっかけとなったと思った割合 【算出式:アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数/アンケート回答数×100】	環境出前学習参加者数	環境出前学習実施回数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	80 85 88 90	4,320 4,380 4,440 4,500	46 48 50 52
	実績	100	1,428	11
	達成度	125%	33%	24%
分析	環境出前学習を実施しようとする保育園・幼稚園は、元々環境保全に関する教育に熱心であり、実際に環境出前学習をすることにより高い達成度となった。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、申し込みのあった一部の園でしか開催できなかったため、参加人数は例年より減少した。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、申し込みのあった一部の園でしか開催できなかったため、実施回数は例年より減少した。	

ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	環境について学ぶ機会が常時、確保され、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへの転換が図られている。	応募のあった小学校に対し、配布する。	「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成、発行する。

指標設定②	指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	環境保全に関心を持つきっかけとなったと思った割合 【算出式:アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数/アンケート回答数×100】	エコライフつうしんぼ提出人数	エコライフつうしんぼ申込人数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	80 85 88 90	2,150 2,190 2,230 2,280	2,750 2,770 2,790 2,810
	実績	100	1,267	1,936
	達成度		59%	70%
分析	環境出前学習を実施しようとする保育園・幼稚園は、元々環境保全に関する教育に熱心であり、実際に環境出前学習をすることにより高い達成度となった。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、申し込みのあった一部の園でしか開催できなかったため、参加人数は例年より減少した。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、申し込みのあった一部の園でしか開催できなかったため、実施回数は例年より減少した。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.57
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,664	4,752	4,237		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	197	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,664	4,949	4,237		
	物件費計	765	889	686	933	74%	
歳出計		6,429	5,838	4,923			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		6,429	5,838	686	933		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、例年通りの実施はできず低い達成度となった。令和2年度の環境出前学習の実施については、新型コロナウイルス感染症予防対策により、前期(令和2年5月～9月)実施分は募集もかけられず、後期(令和10月～令和3年3月)は募集により申し込みがあったが、緊急事態宣言の発令などにより一部しか実施できなかったのが、要因と考える。エコライフつうしんぼについては、夏休み期間の縮小やコロナ禍による休校などが申し込みの減少に影響していると考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市民一人ひとりが、環境について学ぶ機会が常時確保され、環境に配慮したライフスタイルへ転換されるように今後とも取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	環境保全啓発補助事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	環境政策室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち											
	実行計画名		27-1.地球温暖化対策の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市環境基本条例				
関係補助金名称	環境保全啓発事業補助金			サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる。(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、現在の良好な環境を次の世代へ引き継いでいく。				
事業概要	NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議は枚方市環境基本計画に基づき、市民・市民団体・事業者・行政がパートナーシップを形成し、環境の保全と創造についての取組を積極的に推進するための場となる組織(中間支援組織)として設立された。中間支援組織の役割として市民や事業者を対象として取り組む環境保全活動の支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、現在の良好な環境を次の世代へ引き継いでいく。	啓発活動を通じて、市民が環境保全に関して触れる機会が増える。				NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議による、市民や事業者を対象として取り組む環境保全啓発活動について支援を行う。							
指標説明	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	COOLCHOICEひらかたみんなでエコ宣言シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)				啓発活動参加者数(延べ人数)				ひらかた環境ネットワーク会議が実施した総事業数				
指標設定	単位 人				単位 人				単位 事業				
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	2,500	3,000	3,500	4,000	2,175	2,180	2,190	2,200	12	13	14	15
実績	212				1,204				13				
達成度	8%				55%				108%				
分析	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、エコ宣言を呼びかけるイベント(エコフォーラム、コマツフェア、関西学国語大学学際、NPOフェスタ等)が中止となり、啓発活動が実施できなかった。				令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、環境啓発イベント(エコフォーラム、減量フェア等)や環境講座(自然エネルギー学校、くらわんか塾等)が中止や一部中止となり、参加者数は減少した。				例年実施している環境保全啓発活動の継続に加え、新たに人材育成事業を実施したため、達成できた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.32
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,021	2,274	2,243	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	3,021	2,274	2,243	
	物件費計	1,267	1,255	1,183	1,242	95%
	歳出計	4,288	3,529	3,426		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		4,288	3,529	1,183	1,242	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度について、新型コロナウイルス感染予防対策により、エコ宣言を呼びかけるイベント(エコフォーラム、コマツフェア、関西学国語大学祭、NPOフェスタ等)が中止となり、例年通りの啓発活動が実施できずに低い達成度となった。また、環境啓発イベント(エコフォーラム、減量フェア等)や環境講座(自然エネルギー学校、くらわんか塾等)が中止や一部中止となり、参加者数が減少したことも要因と考える。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も、市民一人ひとりが環境に配慮したライフスタイルに転換するため、中間支援組織としてのNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議の活動を支援していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	環境基本計画推進事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	1999(H11)年度				年度	~			年度まで				
根拠法令等	枚方市環境基本条例												
関係補助金名称									サンセット	~			
関係附属機関名称	環境審議会												
事業対象	メインターゲット		市の環境保全施策に関わる市民、市民団体、事業者等(その効果は全市民に及ぶ)										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題。)										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	現年度分の事業計画の達成により、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、現在の良好な環境を次の世代へ引き継いでいくことができる状態。												
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市環境基本条例第7条の規定に基づき、環境の状況、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に進めるための計画として策定した環境基本計画の進行管理を行うため、施策の実施状況の把握・点検を行い、継続的に計画の推進を図る。 ・環境の現況と環境基本計画に基づく施策の実施状況等を掲載した「ひらかたの環境(環境白書)」を発行。 ・市民向けの啓発として主に市の環境保全に関する取り組みを紹介した「ひらかたエコカレンダー」を発行。 												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						「環境基本計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「環境基本計画」に係る各種事務が推進される。			
指標設定	指標説明					「環境基本計画」事業計画に基づく各環境施策の取り組み目標達成率				「環境基本計画」に基づく各環境施策実施施策数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					70	75	75	80	135	135	135	135
	実績					91				139			
	達成度					130%				103%			
分析					各課の環境保全事業が確実に推進され目標を達成できた。				新型コロナウイルスの影響により、6施策が実施できなかった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.14
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	18.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,202	11,144	9,030		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	247	779	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	6,449	11,923	9,030		
	物件費計	155	4,372	363	1,211	30%	
歳出計		6,604	16,295	9,393			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		6,604	16,295	363	1,211		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部施策は実施できなかったものの、目標を達成することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き第3次環境基本計画に基づく各施策の実施状況の把握・点検を行い、継続的に計画の推進を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地球温暖化防止対策事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3		R4					
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち											
	実行計画名	27-1.地球温暖化対策の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる。(市民全体にとっては、異常気象など、地球温暖化の進行が課題。)										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	現年度分の事業計画のうち、枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に係るもの等の達成により、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、市域の温室効果ガス排出量の削減が図られている状態。											
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、市域の温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを実施する。 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき設置した「枚方市地球温暖化対策協議会」を通じて、事業者と行政が連携し、市域における地球温暖化対策を実施する。 暑気対策事業として、緑のカーテンの普及や打ち水などを実施する。 年間を通して、様々な形式の環境イベント・キャンペーンを継続的に実施することにより、より多くの市民に地球温暖化防止を中心とする環境保全意識の普及・啓発を図る。 サブリ村野の「環境情報コーナー」において、地球温暖化対策や省エネなどの環境に関する情報発信、啓発活動を実施する。 											
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、市域の温室効果ガス排出量が削減される				アウトプット(活動結果)	事業者と行政が連携して地球温暖化対策に取り組む。				インプット(活動)	「枚方市地球温暖化対策協議会」を通じて、行政と連携する事業者を増やす。			
---------	-------------	---	--	--	--	--------------	--------------------------	--	--	--	-----------	-------------------------------------	--	--	--

指標設定	指標説明	市域の温室効果ガス排出量(※指標の目標数値は次期計画策定後変わる予定)				地球温暖化対策協議会事業計画に基づき活動した延べ事業所数				会員事業者数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2,478,320	2,441,874	2,405,428	2,357,593	500	670	680	690	126	128	130	132
	実績	2,352,112				490				127			
	達成度	105%				98%				101%			
分析	民生家庭部門での消費電力の減少及び電気の排出係数の減少により、目標が達成できた。				新型コロナウイルスの影響で各種イベント等が中止になってしまい、参加企業が見込みより少なくなってしまうものの、概ね目標は達成できた。				広報での周知や、他の業務でかわりのある事業者等に働きかけを行い、目標を達成できた。				

ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、市域の温室効果ガス排出量が削減される				アウトプット(活動結果)	各種イベント等を通じて、市民の地球温暖化防止に関して触れる機会が増える。				インプット(活動)	地球温暖化防止に係る各種イベント等を実施。			
----------	-------------	---	--	--	--	--------------	--------------------------------------	--	--	--	-----------	-----------------------	--	--	--

指標設定②	指標説明	市域の温室効果ガス排出量(※指標の目標数値は次期計画策定後変わる予定)				各種イベント参加者数				各種イベント開催回数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2,478,320	2,441,874	2,405,428	2,357,593	1,200	1,250	1,350	1,500	9	10	11	12
	実績	2,352,112				0				0			
	達成度	105%				0%				0%			
分析	民生家庭部門での消費電力の減少及び電気の排出係数の減少により、目標が達成できた。				新型コロナウイルスの影響で各種イベントが中止になってしまい、目標を達成できなかった。				新型コロナウイルスの影響で各種イベントが中止になってしまい、目標を達成できなかった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.81
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	29,816	24,713	21,297		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	254	131	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	30,070	24,844	21,297		
	物件費計	23,168	29,477	22,576	23,183	97%	
	歳出計	53,238	54,321	43,873			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	21,055	21,055	21,055	20,848		
	歳入計	21,055	21,055	21,055	20,848		
	一般財源	32,183	33,266	1,521	2,335		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、指標数値の実績からめざす姿に向けて順調に事業を進めることができている。新型コロナウイルスなどの影響を受けている部分もあるが、今後もめざす姿に向けて事業を進めていく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市民一人ひとりに、環境保全に主体性をもって取り組んでいただくのは、一朝一夕には達成できる目標ではないので、長期的な視点でこれからも事業を進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	環境マネジメントシステム推進事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	環境部			課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務	
事業期間	2001(H13)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市職員及び市の環境保全施策に関わる市民、市民団体、事業者等(その効果は全市民に及ぶ)				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	市の施策に環境配慮の視点が盛り込めていないものがある。(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題)				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	環境基本計画の進行管理を行い、市の施策に環境の視点を盛り込むとともに、環境保全施策を推進している。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月より、ISO14001の取り組みで得られたノウハウを生かしながら、これまで計画や指針ごとに行っていた管理を集約・一元化した市独自の環境マネジメントシステム「枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)」の運用を開始し、環境保全活動を推進。 「枚方市低公害車等導入指針」に基づき、公用車の車両保有状況を把握するとともに、低公害車等導入を推進。 「枚方市環境に配慮した物品の購入(グリーン購入)推進指針」に基づき、市役所のグリーン購入を推進。 					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					環境施策を実施し、設定した環境指標を達成することができる。				環境基本計画の事業計画に基づく各環境施策の実施。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				環境指標達成率 【算出式:環境指標を達成した施策数/環境指標を設定した施策数×100】				施策実施件数					
	単位				単位				%					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)						70	71	72	73	135	135	135	135
実績						42.42				138				
達成度				61%				102%						
分析				10年間の取組みにより改善傾向にある指標が多いものの、地域の実情の変化等に伴い、目標を達成できなかった。そのうち、40%の施策が新型コロナウイルスの影響であった。				新型コロナウイルスの影響により、7施策が実施できなかったものの、目標を達成することができた。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.68
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,394	6,253	5,114		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	444	328	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,838	6,581	5,114		
	物件費計	0	0	0	0	—	
	歳出計	7,838	6,581	5,114			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		7,838	6,581	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度は、新型コロナウイルスにより目標達成に至らなかった指標もあるが、環境マネジメントシステム(H-EMS)の適切な運用を行い、概ね環境保全活動を推進することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	第3次枚方市環境基本計画にあわせた「枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)」の適正かつ効率的な運用を行い、今後の適切な運用につなげる。また、グリーン購入について職員への周知を図り、グリーン購入率の向上に努めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	まち美化啓発事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち										
	実行計画名		28-1.美しい景観形成の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置の防止に関する条例、枚方市路上喫煙の制限に関する条例				
関係補助金名称			サンセット	~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共場所等を利用する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	衛生上・美観上、不快に感じる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歩きたばこや吸い殻などのポイ捨てなどがなく、清潔で美しいまちになっている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内の各駅周辺において、職員による、条例周知のための街頭啓発キャンペーンを実施。 広報、エフエムひらかた等で、条例の規定の周知や、路上喫煙禁止区域の周知等の啓発を実施。 「犬のふん放置禁止」「ポイ捨て禁止」の啓発看板を、希望する個人・自治会・事業者等へ配布。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		空き缶や吸い殻などのポイ捨てなどがなく、清潔で美しいまちになっている。				登録団体が清掃活動を実施する。				まち美化に取り組む市民や事業者等を支援する。			
指標説明		清掃活動により収集されたごみの量				登録団体が実施した清掃活動回数				アダプトプログラム・アドプト・地域清掃・ボランティアサポートプログラム登録団体数			
指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	28,000	27,500	26,500	25,000	1,310	1,315	1,320	1,325	375	377	379	381
	実績	16,288				1,036				323			
達成度		142%				121%				86%			
分析		指標数値としては、達成している。その要因としては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、活動を自粛する団体が多く、清掃活動回数が減少したことに伴って、回収量が減少したことが考えられる。				新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、活動を自粛する団体が多く、清掃活動回数の減少につながった。				新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、積極的な団体登録の広報等を行えなかったことが原因として考えられる。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.66
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	10,654	11,202	12,620		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	10,654	11,202	12,620		
	物件費計	4,307	5,042	3,308	5,625	59%	
	歳出計	14,961	16,244	15,928			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	14,961	16,244	3,308	5,625		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、コロナウイルスの蔓延による緊急事態宣言の発出により、登録団体である自治会等における清掃活動自体が不可能となり、地域清掃の実施回数、回収量などの減少に結びつき、大幅な実績の低下につながっていると考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後とも地域清掃等の清掃活動を推進していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	プラごみ削減・ポイ捨て防止推進事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち											
	実行計画名	28-1.美しい景観形成の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2020 (R2) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	海岸漂着物処理推進法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体的に取り組めていない市民がいる(市民全員にとっては、マイクロプラスチックによる海洋汚染などが課題)
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、良好な環境を次の世代に引き継いでいく。
-----------------------	---

事業概要	<p>市民・市民団体・事業者・行政が連携・協力して、「ポイ捨てをしない、させない環境づくり」や、「使い捨てプラスチックの使用削減に向けた取り組み」を行うことで、世界的に深刻化している海洋プラスチック問題の解決・改善につなげていく。</p> <p>また、さらにこうした取り組みを通して、市民のSDGsに対する認知度を高めるとともに、本事業がSDGsの17のゴールの1つである「海の豊かさを守ろう」の達成に向けたものであることを意識した主体的な行動を喚起することを目指していく。</p> <p>①プラスチックごみのポイ捨て防止啓発 ・クリーンリバー、アダプト団体との連携による清掃活動と啓発活動(回収したプラスチックごみの量などを公表)ほか</p> <p>②使い捨てプラスチックの削減 ・NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議と連携して(仮称)プラごみ削減アイデアコンテストの実施(令和2年度に実施) ・市民ワークショップの開催(令和2年度に実施) ・「プラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言」賛同の呼びかけ ・レジ袋削減を呼びかけるポスターの掲示ほか</p> <p>③市役所での率先行動 ・エコオフィスの取り組みに追加(職員や審議会等へのマイボトル・マイバッグ持参の呼びかけ、市イベント等において使い捨てプラスチックの使用を控える等)</p> <p>④①②の取り組みを通じたSDGsの「14 海の豊かさを守ろう」のゴール達成に向けた取り組みの推進 ・クリーンリバー、アダプト団体との連携によるSDGsの周知・啓発 ・公共施設等へのポスター掲示やイベント等でのSDGsの周知・啓発</p>
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換できている。	SDGsの認知度が向上し、SDGsの市民意識が高まり、プラスチックごみが削減される。	(仮称)プラごみ削減アイデアコンテストを実施。	
指標設定	指標説明	プラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言に賛同し、取り組みに協力すると答えた市民の延べ人数	コンテスト参加者数(累計)	コンテストの周知活動回数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 人	単位 人	単位 回
	目標(見込み)	R2 1,000 R3 3,000 R4 3,000 R5 3,000	R2 200 R3 250 R4 300 R5 400	R2 5 R3 5 R4 5 R5 5
	実績	640	67	0
	達成度	64%	34%	0%
分析	新型コロナウイルスの影響でイベントでの周知活動ができなかったことや参加者募集開始時期が遅れたため、目標には届かなかった。	新型コロナウイルスの影響でコンテストの周知活動が思うようにできなかったため、目標には届かなかった。	イベントでの周知活動を想定していたが、新型コロナウイルスの影響で活動ができなかった。市内学校園や市公共施設での応募用紙22,000部の配布や広報誌・ホームページへの記事掲載を行った。	

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換できている。				市内商店へ掲示の協力を呼び掛けることにより、更なる掲示の推進、及び啓発が進む。				使い捨てプラスチックの削減に向けたポスターを掲示する。			
指標設定②	指標説明	プラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言に賛同し、取り組みに協力すると答えた市民の延べ人数				市内のポスター掲示協力店舗及び事業所数(累計)				ポスターの掲示枚数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	1,000	3,000	3,000	3,000	40	50	60	70	125	150	175	200
	実績	640				7				69			
	達成度	64%				18%				55%			
	分析	新型コロナウイルスの影響でイベントでの周知活動ができなかったことや参加者募集開始時期が遅れたため、目標には届かなかった。				70店舗に対し、ポスターの掲示を依頼したが、各店舗で類似するポスターが既にある等の理由から掲示に至らなかったことや依頼したすべての店舗に対し掲示したかどうか確認が取れなかった。				公共施設には予定通り掲示できたが、店舗での掲示が類似ポスターが掲示済みであったり、ポスター掲示依頼後実際に掲示できたかどうか把握できていなかったため、掲示枚数が伸びなかった。			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換できている。				各種啓発活動により、市民がプラスチックごみのポイ捨て防止に関して触れることができる機会が増える。				プラスチックごみのポイ捨て防止に係る各種啓発活動等を実施。			
指標設定③	指標説明	プラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言に賛同し、取り組みに協力すると答えた市民の延べ人数				各種啓発活動等の参加者数				プラスチックごみのポイ捨て防止に係る啓発活動等実施件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	1,000	3,000	3,000	3,000	450	500	550	600	5	5	5	5
	実績	640				0				0			
	達成度	64%				0%				0%			
	分析	新型コロナウイルスの影響でイベントでの周知活動ができなかったことや参加者募集開始時期が遅れたため、目標には届かなかった。				新型コロナウイルスの影響で活動を予定していたイベントが中止となったことから、啓発活動が実施できなかった。				新型コロナウイルスの影響で活動を予定していたイベントが中止となったことから、啓発活動が実施できなかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.71
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	5,662	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	5,662	
	物件費計	—	—	50	124	40%
	歳出計	—	—	5,712		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	50	124	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、新型コロナウイルスの影響で「ひらかたプラごみダイエット行動宣言」の参加者募集時期が遅れたことや周知活動を予定していたイベントが中止となり、思うように周知活動ができなかったことにより、年度目標の達成はできなかったが、3カ月で640人の「プラごみダイエット行動宣言」の参加があったことから、新型コロナウイルスの影響を受けにくい周知方法を模索しながら、引き続き実施することで、目標を達成できると考える。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和5年度の目標達成に向けて、引き続き取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	環境政策室運営事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	環境部				課	環境政策室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外										
	施策目標		99.施策体系外										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明		年度	~	年度まで							
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		課職員									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境政策室及び環境部内の所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する											
事業概要	部内及び室内の庶務、議会・組合等に対する調整及び交渉等、職員の安全衛生及び福利厚生、文書管理、物品管理、予算編成・決算管理等並びに給与・休暇等の事務処理を行う。 行政財産及び基金の管理を行う。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標説明	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	6.99
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	51,825	40,615	54,787		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	226	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	51,825	40,841	54,787		
	物件費計	84,932	71,978	63,684	60,481	105%	
	歳出計	136,757	112,819	118,471			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	30,493	19,788	0	0		
	歳入計	30,493	19,788	0	0		
一般財源		106,264	93,031	63,684	60,481		

5. 総括的分析

総括的分析	環境政策室及び環境部に係る運営・調整・庶務事務などを、効率的かつ円滑に行った。 環境紛争調整委員制度については、申立がなかったが、申立があれば随時対応していく。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き、効率的かつ円滑な運営を図っていく。